

授業科目

救急救命活動高度実習II

担当教員名 山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩	対象学年	2	対象学科	救急
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	4	時間数	180

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

救急救命士は、限られた人員であらゆる症例に対して迅速かつ正確な応急処置を行うことが求められる。そのため、個々の状況を把握し、自身が行うべき役割を認識した上で、合理的な隊連携活動を行うことが必要となる。

本実習では、救急救命活動基本実習I・IIで学習した基礎知識をもとにして、救急現場を想定した状況下において、より難度の高い傷病者を観察・評価し、救急処置（特定行為を含む）・医療機関との連携・搬送・引継を行うまでを想定した内容を実習する。

授業の目的

救急救命士は、限られた人員であらゆる症例に対して迅速かつ正確な応急処置を行うことが求められる。そのため、個々の状況を把握し、自身が行うべき役割を認識した上で、合理的な隊連携活動を行うことが必要となる。

本実習では、救急救命活動基本実習I・IIで学習した基礎知識をもとにして、救急現場を想定した状況下において、より難度の高い傷病者を観察・評価し、救急処置（特定行為を含む）・医療機関との連携・搬送・引継を行うまでを想定した内容を実習する。

学習目標

1. 医学的根拠をもった観察・評価ができる。
2. 病態に適した処置ができる。
3. 安全・確実に器材を取り扱える。
4. 統率がとれた隊連携活動ができる。
5. 病態に適した体位管理・搬送ができる。
6. 関係者・傷病者とコミュニケーションをとり情報収集ができる。
7. 医療機関へ簡潔明瞭な情報伝達ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	特定行為(1)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
2	特定行為(2)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
3	特定行為(3)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
4	特定行為(4)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
5	特定行為(5)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
6	特定行為(6)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
7	特定行為(7)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
8	特定行為(8)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
9	特定行為(9)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
10	特定行為(10)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
11	特定行為(11)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
12	特定行為(12)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
13	特定行為(13)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他

			他
14	特定行為(14)	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
15-80	救急救命活動高度II	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他
81-90	シミュレーション（まとめ）	実習	山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 上巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	10,584円	1年次購入済
	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 下巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	10,584円	1年次購入済
参考書						
その他の資料						

評価方法

- 1.実技試験において規定の到達度をクリアすること。
- 2.必要に応じてレポートを課す。期限内にレポート提出ができない場合は評価点より減点する。
- 3.試験が不合格の場合は1回のみ再試験を行なう。

履修上の留意点

以下に挙げる場合は、科目試験の判定を放棄したものとみなす。

- 1.病気、怪我などの身体的理由（要診断書）または適正な理由（要担当教員許可）が無く欠席または遅刻をした場合。
- 2.授業態度不良と判断された場合。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡する。